参考資料

1　安城市の多文化共生に関するアンケート結果概要

（１）調査の目的

本プランを策定するにあたって、地域における外国人住民の生活状況や、多文化共生に対する市民の考えをお聞きするために実施しました。

（２）調査の概要

本調査は、①2011（平成 23）年 11 月1日現在、本市に外国人登録をしている 16 歳以上の男女の中から無作為に抽出した 500 名を対象とした調査（外国人住民調査）と、②2011（平成 23）年 11 月1日現在、本市に住民登録している 16 歳以上の男女の中から無作為に抽出した 2,000 名を対象とした調査（日本人住民調査）の２種類の調査を実施しました。

表 1-1　外国人住民調査の配布・回収結果

調査対象	本市に外国人登録をしている 16 歳以上の男女
抽出方法	無作為抽出
調査方法	行政連絡員による配布と郵送による回収
調査時期	2011（平成 23）年 12 月
配布数	500 票
回収数	148 票
回収率	29.6%
無効票数	０票（無回答）
有効配布数	473 票（住所不定等で未着の 27 票を除く）
有効回収数	148 票
有効回収率	31.3%

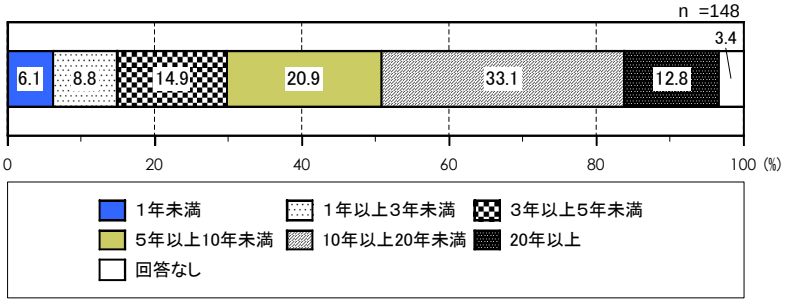
表 1-2　日本人住民調査の配布・回収結果

調査対象	本市に住民登録している 16 歳以上の男女
抽出方法	無作為抽出
調査方法	行政連絡員による配布と郵送による回収
調査時期	2011（平成 23）年 12 月
配布数	2,000 票
回収数	1,137 票
回収率	56.9%
無効票数	３票（無回答）
有効配布数	1,990 票（住所不定等で未着の 10 票を除く）
有効回収数	1,134 票
有効回収率	57.0%

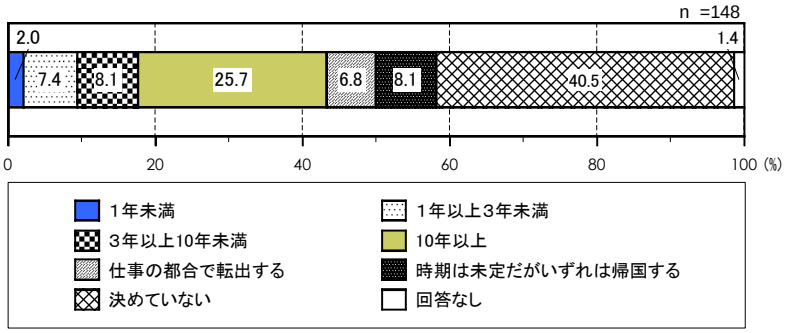
（３）調査結果【抜粋】

■外国人住民の日本での居住年数と本市での今後の居住予定

▼日本での居住年数【外国人住民調査】

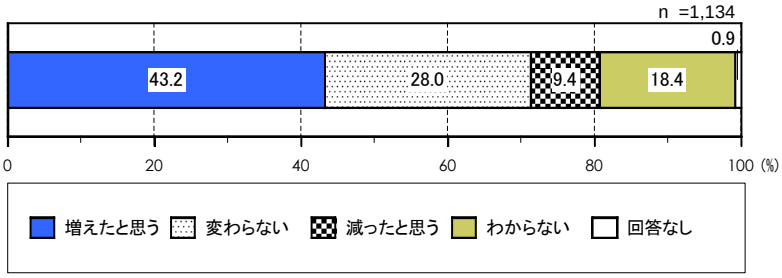


▼本市での今後の居住予定【外国人住民調査】

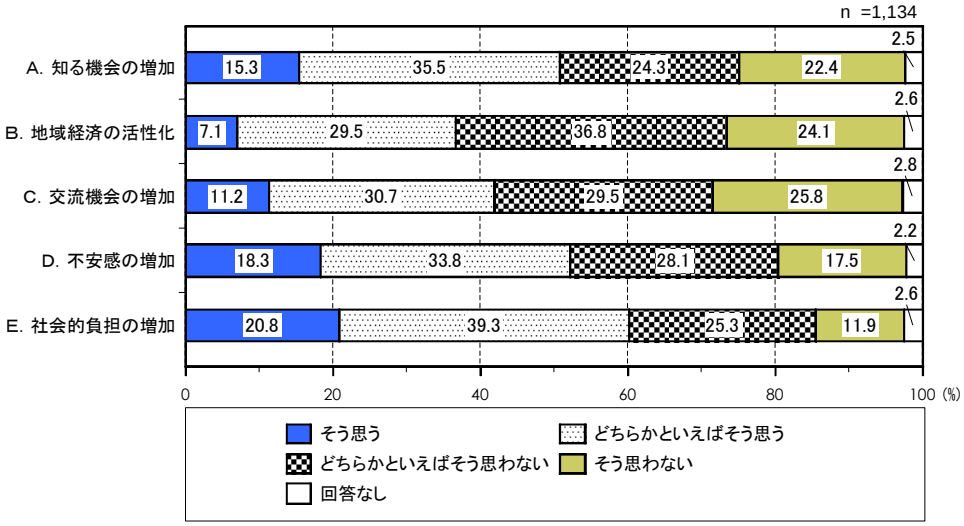


■日本人住民の外国人住民に対する印象

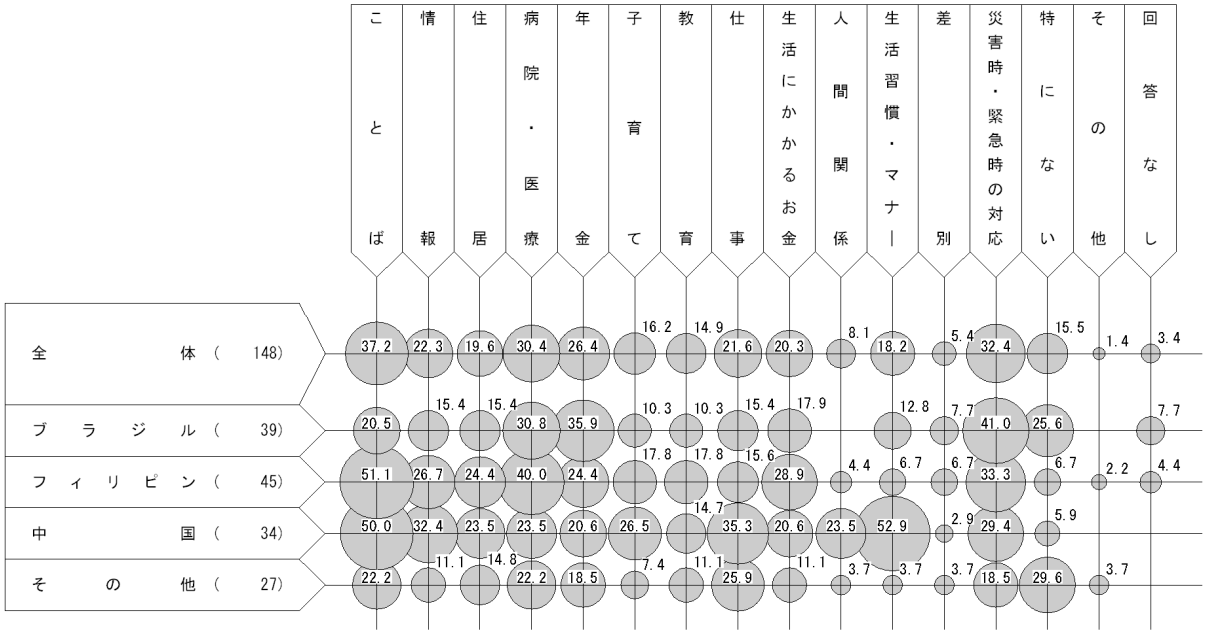
▼外国人住民の印象【日本人住民調査】



▼外国人住民による影響【日本人住民調査】

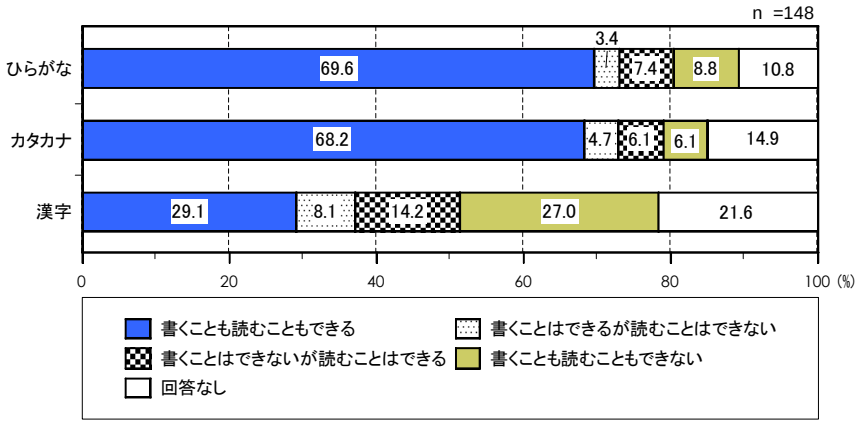


▼日常の生活で相談したいこと【外国人住民調査】

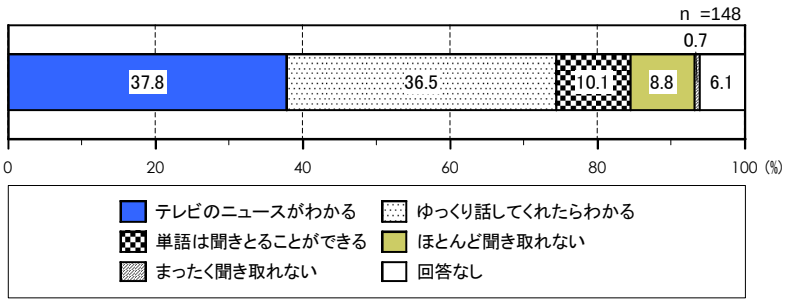


■日本語の能力

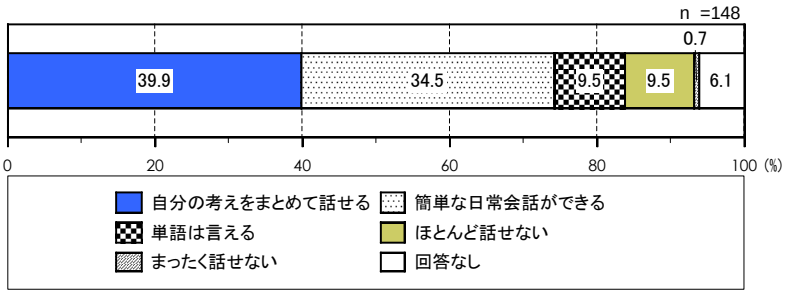
▼日本語の読み書き能力【外国人住民調査】



▼日本語の聞き取り能力【外国人住民調査】

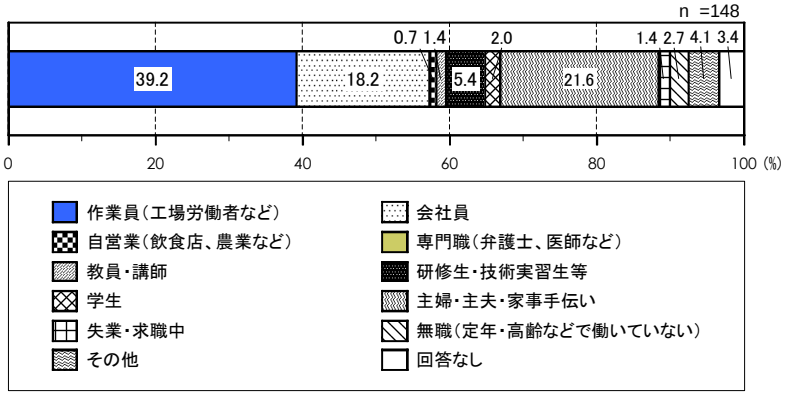


▼日本語の会話能力【外国人住民調査】

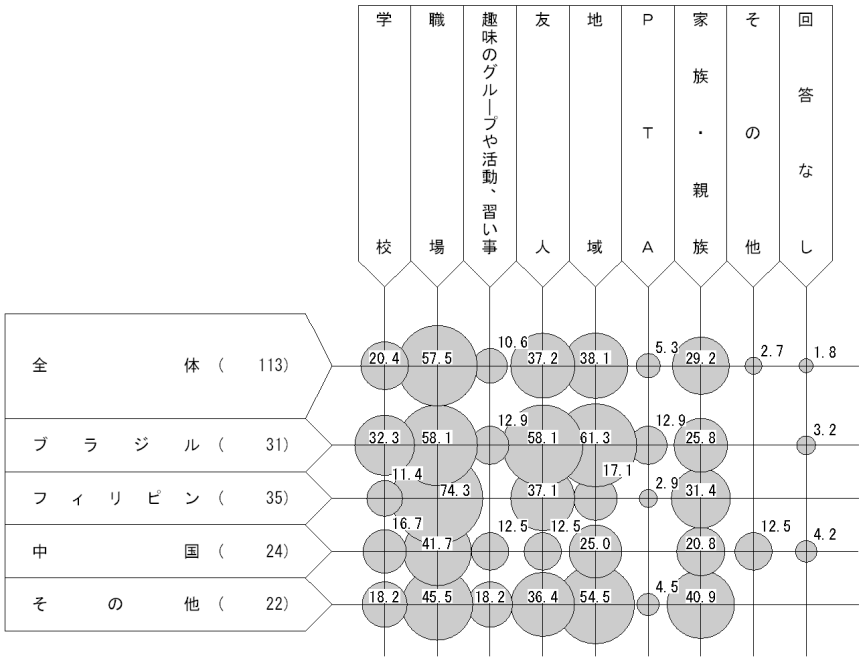


■職業・職場

▼職業【外国人住民調査】

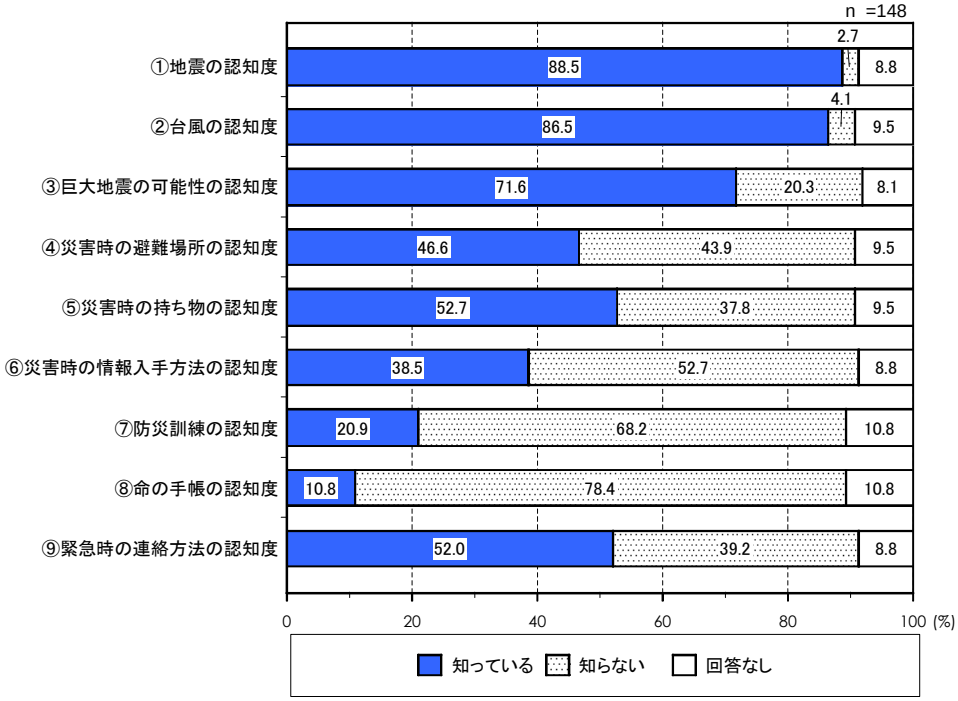


▼日本人との交流場面【外国人住民調査】

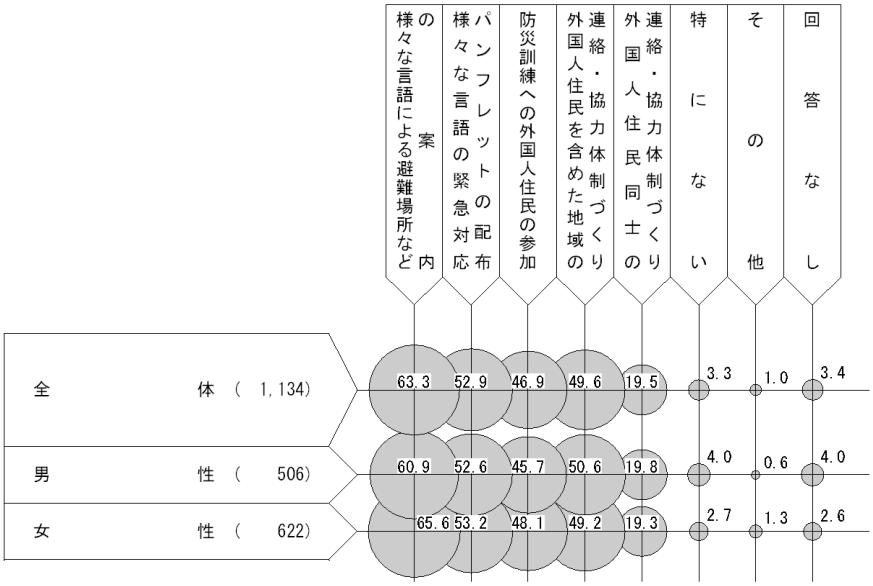


■災害時・緊急時に関すること

▼災害時・緊急時に関することについての認知度【外国人住民調査】

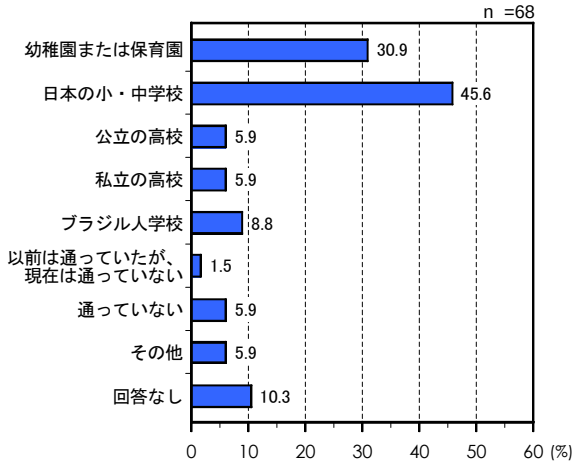


▼災害時・緊急時に外国人住民と協力するために必要なこと【日本人住民調査】

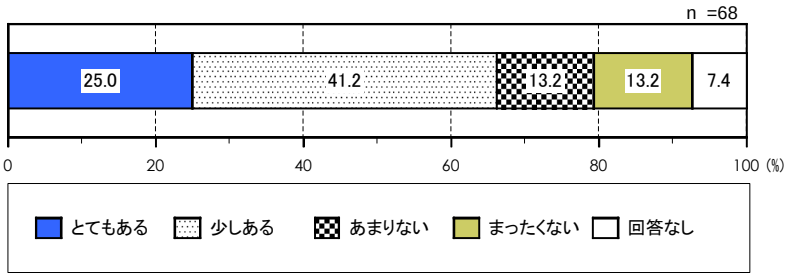


■外国人住民の子ども・子育て・教育

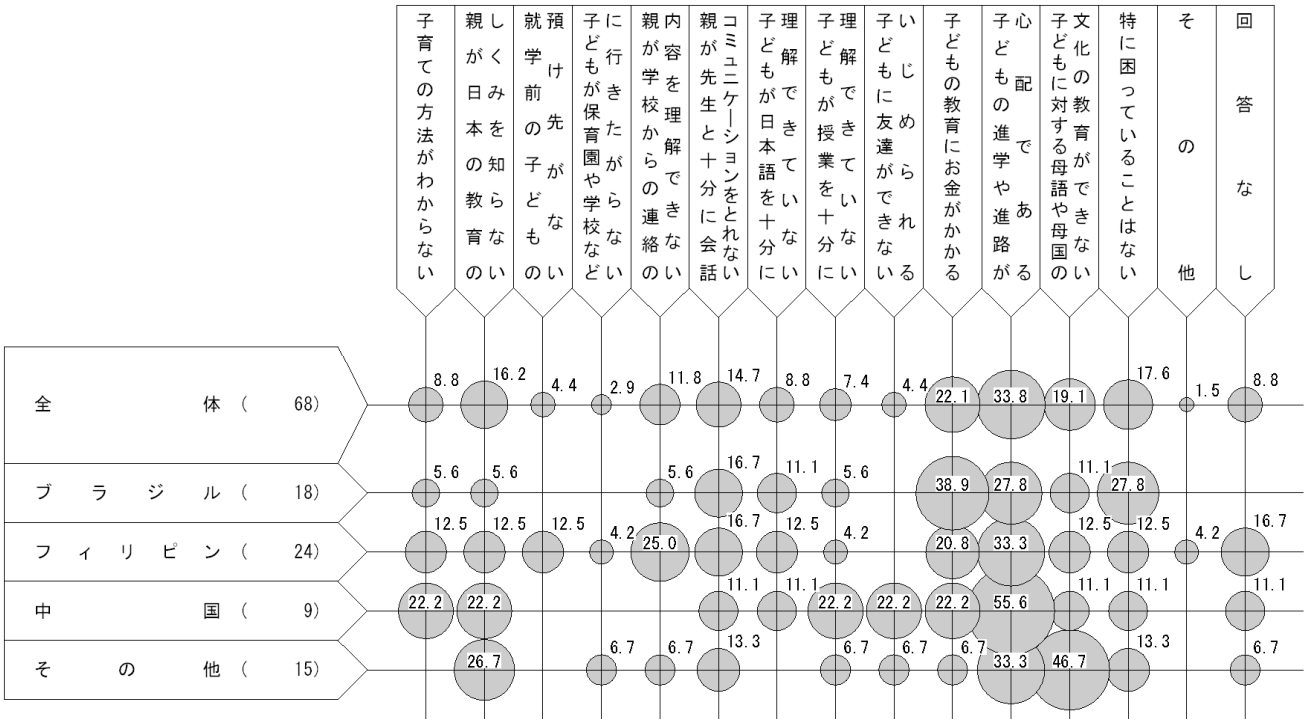
▼子どもの通学している学校【外国人住民調査】



▼子育てに対する不安・悩みの有無【外国人住民調査】

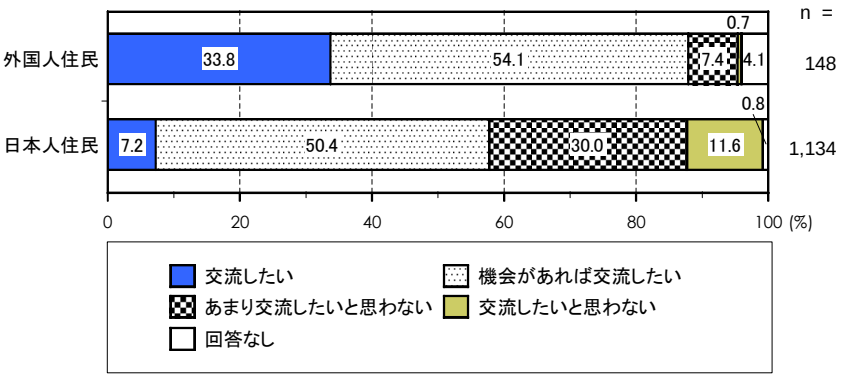


▼子育てや教育に対する不安・悩みの内容【外国人住民調査】

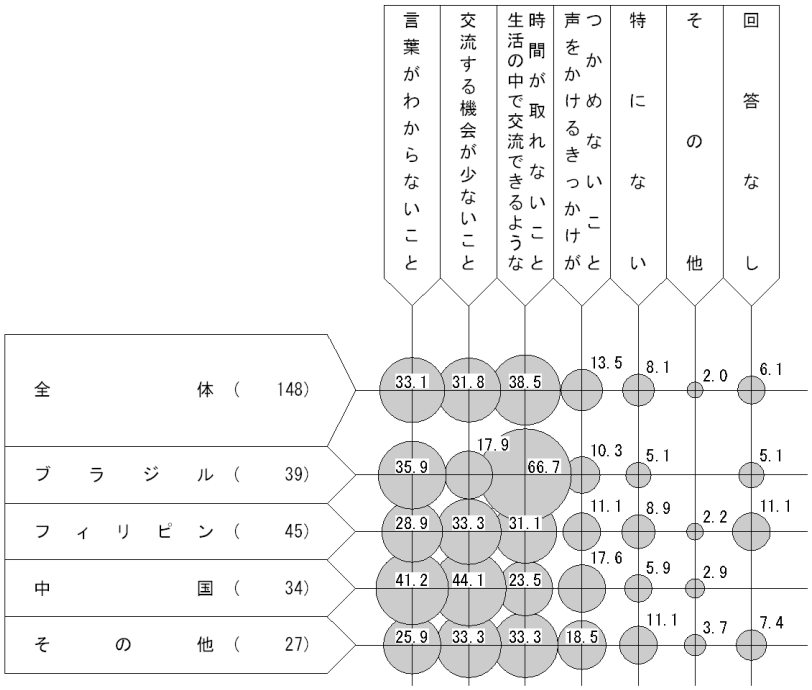


■外国人住民と日本人住民の交流

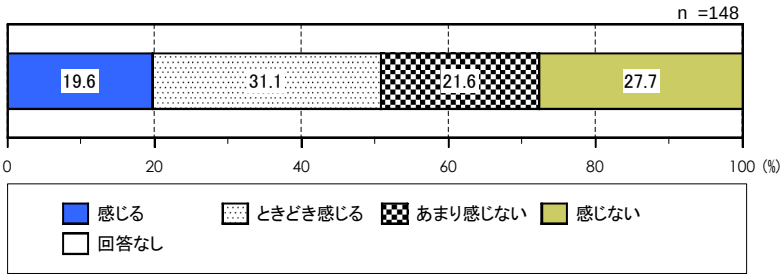
▼様々な国籍の人との交流意向【外国人住民調査、日本人住民調査】



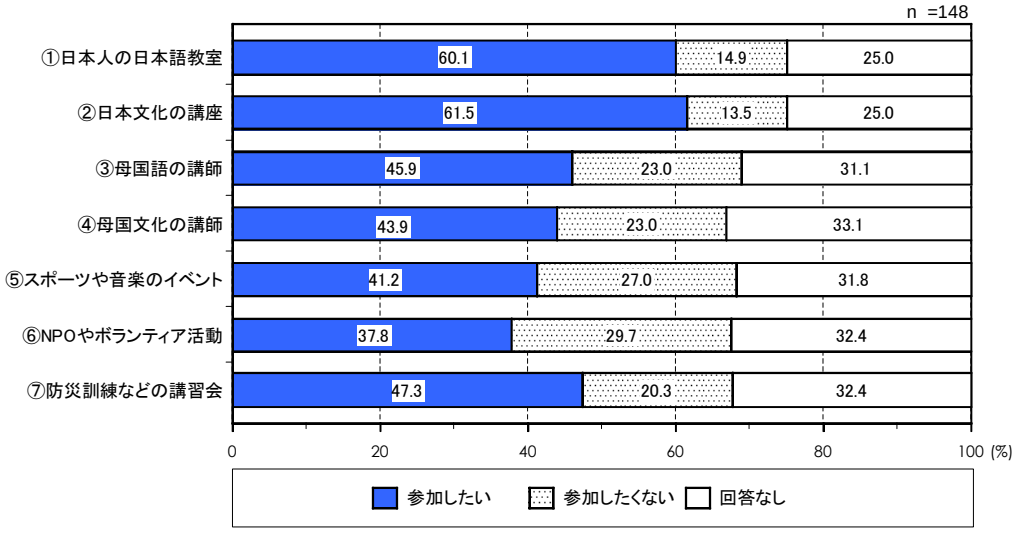
▼交流の際に障害になること【外国人住民調査】



▼差別の実感の有無【外国人住民調査】

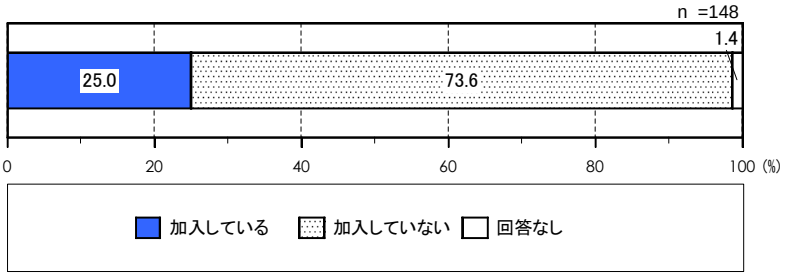


▼参加したい交流の機会【外国人住民調査】

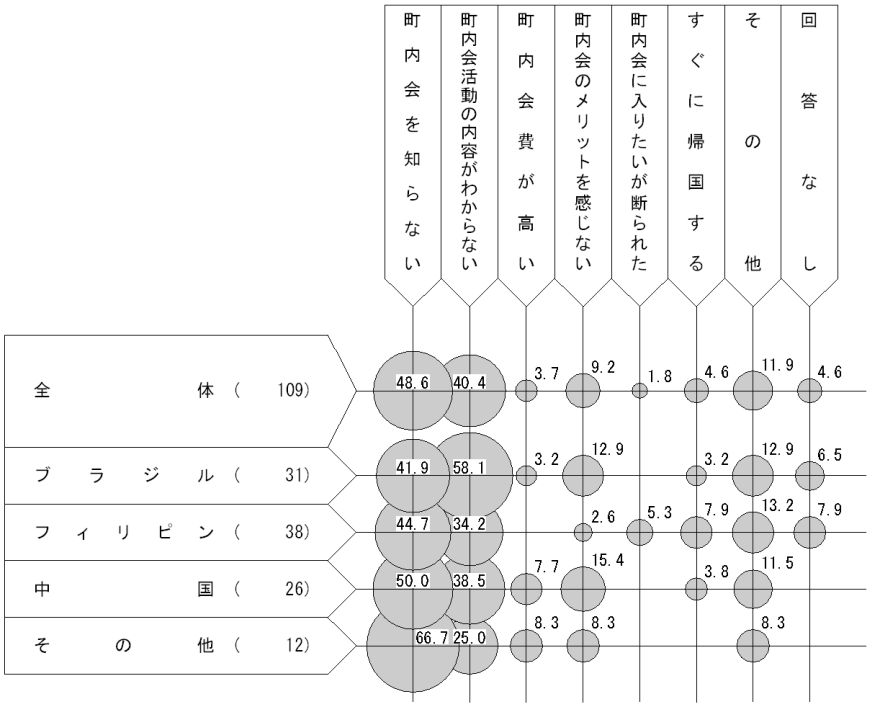


■外国人住民の地域での生活

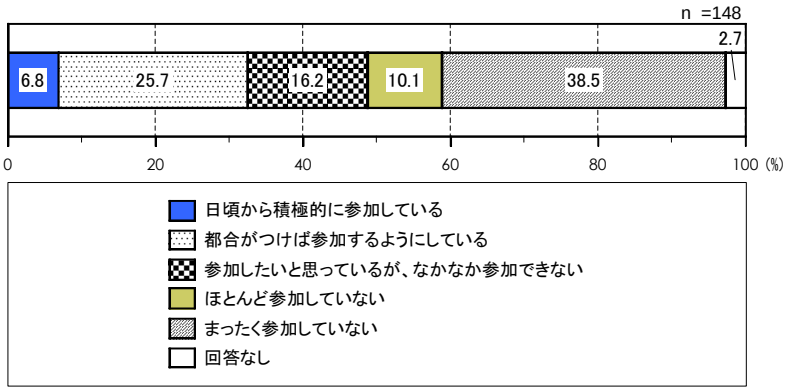
▼町内会への加入状況【外国人住民調査】



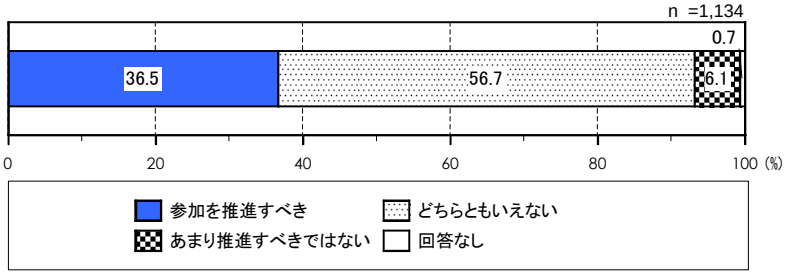
▼町内会に加入していない理由【外国人住民調査】



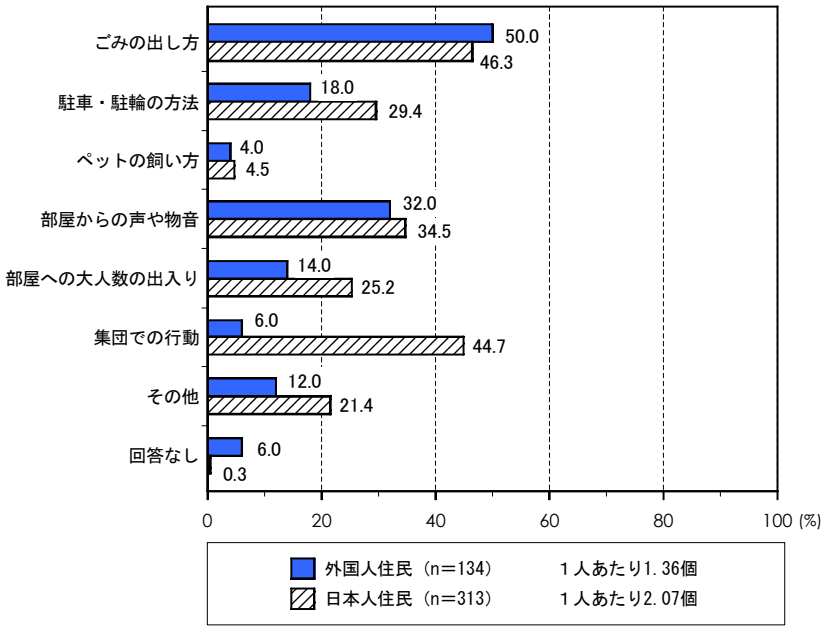
▼地域活動への参加状況【外国人住民調査】



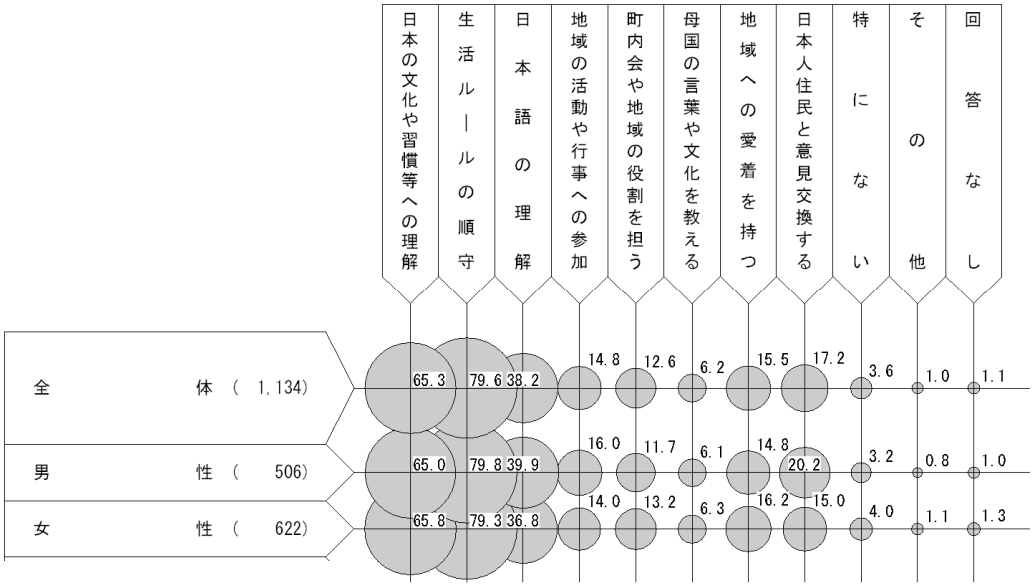
▼外国人住民の地域活動への参加に対する考え【日本人住民調査】



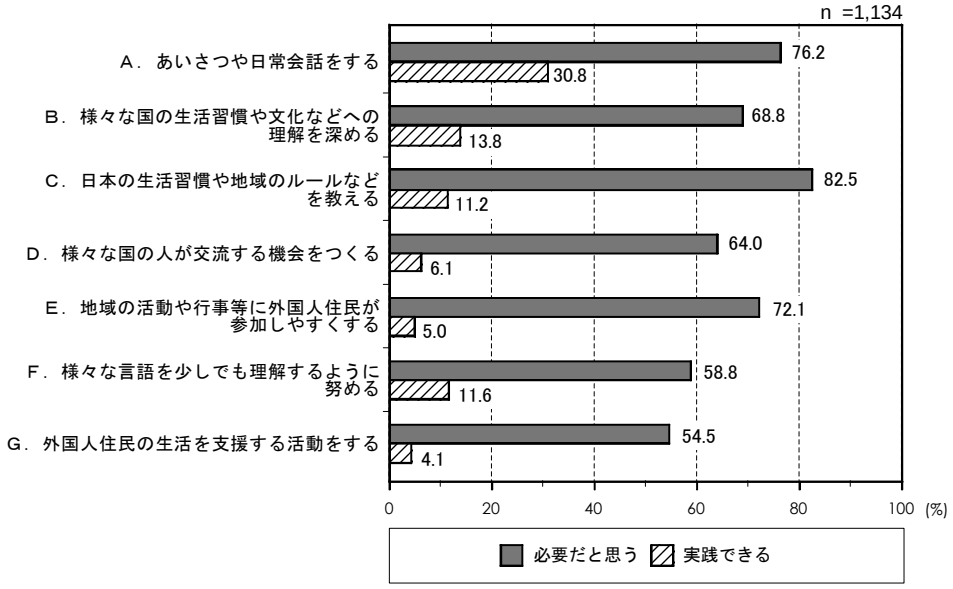
▼外国人住民について困っている内容【外国人住民調査、日本人住民調査】



▼地域生活する上で外国人住民に努力して欲しいこと【日本人住民調査】

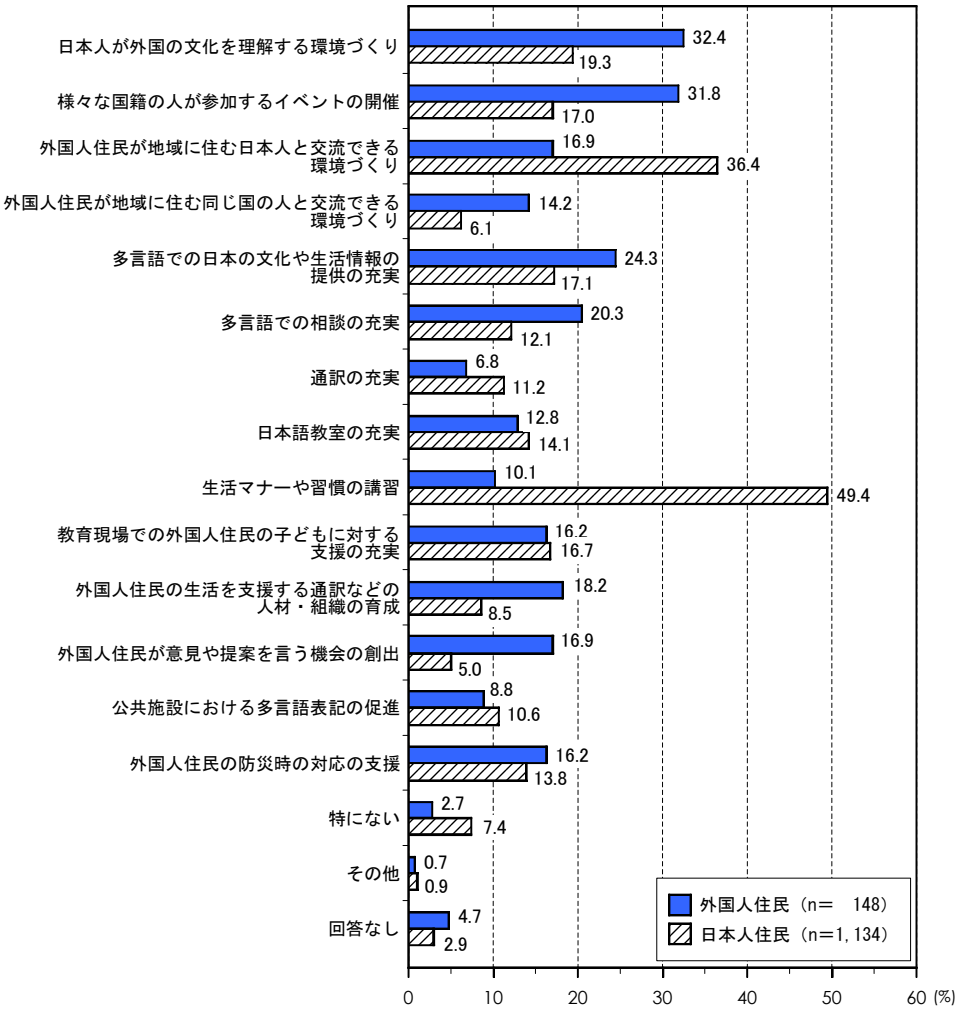


▼外国人住民と地域で生活していく上で必要なこと、実践できること【日本人住民調査】



■多文化共生を進めるために必要なこと

▼多文化共生を進めるために必要なこと【外国人住民調査、日本人住民調査】



2　策定経過

日　程	内　容
2011（平成 23）年 12 月	安城市多文化共生に関するアンケート調査　実施 ○外国人住民　　500 票 ○日本人住民　2,000 票
2012（平成 24）年 7 月 22 日	日本語教室生徒対象ヒアリング調査　実施
2012（平成 24）年 8 月 21 日 ～9 月 6 日	安城市多文化共生に関するヒアリング調査　実施 ○町内会　４か所　　○幼稚園・保育園　２か所 ○小学校　３か所　　○中学校　３か所 ○企業・商工会議所　３か所
2012（平成 24）年 10 月	市役所における多文化共生に関する取り組み状況調査　実施
2012（平成 24）10 月 29 日 第１回策定委員会	○委員長、副委員長選出 ○計画策定の概要説明 ○安城市における外国人を取り巻く現状・課題報告 ○意見交換「私が考える外国人住民に関する現状・課題」
2012（平成 24）年 11 月 7 日 第１回プロジェクトチーム会議	○計画策定の概要説明 ○安城市における外国人を取り巻く現状・課題報告 ○意見交換 「市民として、職員として、私が考える外国人住民に関する現状・課題」 ○ミニレクチャー 「安城市として多文化共生にどう取り組むか」 安城市多文化共生プラン策定委員会委員 NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事　土井佳彦 氏
2012（平成 24）年 12 月 14 日 第２回策定委員会	○話題提供 「日本で暮らす外国人住民の現状と多文化共生の取組」 安城市多文化共生プラン策定委員会委員長 愛知淑徳大学文学部教育学科准教授　小島祥美 氏 安城市多文化共生プラン策定委員会委員 NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事　土井佳彦 氏 ○多文化共生プランで大切にすべき想いについて
2013（平成 25）年 1 月 11 日 第２回プロジェクトチーム会議	○各課における多文化共生に対する取り組み課題と施策目標 ○多文化共生に関する他市の取り組み紹介 ○多文化共生プランの理念・基本目標の検討 ○多文化共生プランの課題・施策目標の検討
2013（平成 25）年 2 月 15 日 第３回プロジェクトチーム会議	○多文化共生に取り組む必要性・方向性の検討 ○多文化共生プランの将来像を考える

日　程	内　容
2013（平成 25）年 3 月 8 日 第４回プロジェクトチーム会議	○多文化共生プランの理念・基本目標 ○多文化共生プランの施策・取組 ○具体的な取組を考える
2013（平成 25）年 3 月 21 日 第３回策定委員会	○多文化共生プランの将来像・基本目標を考える ○各取組をより良くするアイデアや市民・地域・企業ができることの意見交換
2013（平成 25）年 5 月 17 日 第５回プロジェクトチーム会議	○多文化共生プランの将来像・基本目標等の確認・検討 ○多文化共生プランの施策や主な事業・取組の確認・検討
2013（平成 25）年 5 月 25 日	多文化交流会～ブラジル編～
2013（平成 25）年 6 月 3 日 第４回策定委員会	○将来像・骨子案に対する意見交換 ○利用しやすい市役所にするためのアイデア出し
2013（平成 25）年 6 月 25 日 第６回プロジェクトチーム会議	○安城市多文化共生プラン（素案）の検討
2013（平成 25）年 7 月 4 日 第７回プロジェクトチーム会議	○安城市多文化共生プラン（素案）の検討
2013（平成 25）年 7 月 29 日 第５回策定委員会	○安城市多文化共生プラン（素案）の検討
2013（平成 25）年 10 月 20 日	多文化交流会～料理持ち寄りパーティ編～
2013（平成 25）年 10 月 25 日 第８回プロジェクトチーム会議	○安城市多文化共生プラン（案）の検討
2013（平成 25）年 10 月 30 日 第６回策定委員会	○安城市多文化共生プラン（案）の検討

３　策定委員会等

（１）安城市策定委員会設置要綱

（設置）

第１条　この要綱は、安城市多文化共生プラン策定支援事業の実施において、広く市民の意見及び考え方を反映するために設置する（仮称）安城市多文化共生プラン策定委員会（以下「策定委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事項）

第２条　策定委員会は、次に掲げる事項に関し、必要な協議を行うものとする。

（１）多文化共生プランの策定に関すること。

（２）その他多文化共生の推進に関すること。

（組織）

第３条　策定委員会は、１５人以内で組織する。

２　策定委員会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱するものとする。

（１）学識経験を有する者

（２）外国人を雇用する企業の関係者

（３）小中学校校長会を代表する者

（４）町内会長連絡協議会を代表する者

（５）外国人支援団体の関係者

（６）公募による市民

（７）その他市長が必要と認める者

（委員長及び副委員長）

第４条　策定委員会に委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、委員の互選によって定め、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

３　委員長は、会務を総理する。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（任期）

第５条　委員の任期は、委嘱の日から平成２６年３月３１日までとする。ただし、委員が委嘱されたときの要件を欠くに至ったときは、その委員は解任されるものとする。

２　前項の規定により委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第６条　策定委員会の会議は委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

２　委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

（庶務）

第７条　策定委員会の庶務は、市民生活部市民協働課において処理する。

（その他）

第８条　この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が策定委員会に諮って定める。

附　則

１　この要綱は、平成２４年９月１日から施行する。

２　この要綱は、平成２６年３月３１日限り、その効力を失う。

（２）策定委員名簿

	氏　　名	所　　属	備　　考
委員長	小　島　祥　美	愛知淑徳大学文学部教育学科　准教授	学識経験者
副委員長	鳥　居　　保	安城市町内会長連絡協議会　副会長	町内会関係者
委　員	会　津　　萌	市民代表	市民公募
委　員	伊　藤　雅　仁	安城警察署警備課　係長	警察関係者
委　員	井　野　時　弘（H24） 野　村　俊　之（H25）	衣浦東部広域連合安城消防署　副署長	消防関係者
委　員	神　谷　和　也	安城市国際交流協会　会長	国際交流協会
委　員	木　村　登志枝	市民代表	市民公募
委　員	榊　原　　守	株式会社サカキバラコーポレーション 代表取締役	商工会議所
委　員	杉　　喜久代	安城中部小学校　校長	小中学校校長会
委　員	土　井　佳　彦	ＮＰＯ法人多文化共生リソースセンター東海　代表理事	学識経験者
委　員	松　本　修　治	株式会社ヒサダ　総務・安全環境課 課長	外国人雇用企業
委　員	松實エミリア　ミドリ	市民代表	市民公募
委　員	横　山　辰　夫	特定非営利活動法人ＮＰＯ愛知ネット 理事	外国人支援団体

（３）プロジェクトチーム会議

役割：策定委員会から提出された意見を踏まえながら、基本理念なども含めた計画書全体の案や、具体的な施策について議論し、案の作成、検討を行う。
構成：市関係課の係長、主査、主事など１７人（事務局除く）
開催：８回

安城市多文化共生プラン

2014（平成26）年3月　発行

発　　行：安城市市民生活部市民協働課
住　　所：〒446-8501　愛知県安城市桜町18番23号

電話番号：0566-71-2218（直通）　ＦＡＸ番号：0566-76-1112

Ｅ－ｍａｉｌ：kyodo@city.anjo.lg.jp